

車体のねらいは、

### 行動範囲を広げる“CT”車体諸元

軽快な取り回し性を備えたスーパーカブ共通の車体パッケージングを基本として、より幅広いシチュエーションを想定した車体諸元を設定しました。同クラスのスーパーカブ C125に比べ、ホイールベースを+10mmとなる1255mm、シート高を+20mmとなる800mmとし、アップハンドルを採用。ツーリング先などの自然豊かな風景をゆったりと楽しめる“より見晴らしのよい”ライディングポジションとしました。

また、最低地上高を165mmとする事で、路面の凹凸やギャップのあるシチュエーションでの車体取り扱い性を向上させています。これら車両の性格を決定するディメンション設定とフューエルタンク容量拡大を図りながら、シート形状を工夫することで足着き性にも配慮しています。

また、かつての“CT”の特徴となっていたハイマウント吸気ダクト、アップマフラー、アンダーガードなどの採用により、外観のみならず「トレッキング性能」向上にも大きく寄与しています。

#### ■ライディングポジション／ディメンション

